



第96回山宣墓前祭

2025年3月5日(水)12時10分～
宇治市善法墓地(山宣の墓前)

山宣の遺志を継ぎ、力を合わせ、
平和・暮らし・人権・民主主義を守ろう！



(609号付録)

京都版 第465号

2025年3月15日

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

京都府本部

〒604-8832 京都市中京区

壬生下溝町51-41

TEL: 075-312-8787

FAX: 075-325-3863

E-mail

Info@kokubai-kyoto.com

ホームページ

<https://kokubai-kyoto.com>

「山宣墓前祭」哀悼の言葉

京都府本部会長

原田 完

山本宣治さん、道半ばで無念な思いでその人生を閉じざるを得なかったことに哀悼の意を治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟を代表して表します。

今年、あなたが治安維持法罰則強化の改悪に反対し右翼の凶刃に命を奪われて96年、天下の悪法「治安維持法施行」100年の年です。

国賠同盟として「特高月報」や「思想月報」などの資料から治安維持法により、逮捕投獄、暴行、拷問、更に惨殺で命を奪われた多くの犠牲者の実態の掘り起こし

をしています。現時点で掌握できた犠牲者名簿を作成し、同時に当時の治安維持法犠牲者の顕彰です。

さらには研究者等による京大事件や学連事件、その後の治安維持法での弾圧事件、人士の検証や当時の実態を明らかにして天下の悪法治安維持法を社会に明らかにするための活動を進めています。

山本宣治さん、あなたが命を賭して反対を貫いた治安維持法の犯罪行為認定は具体的犯罪行為でなく、内心を罰すると言うものでした。

その犯罪行為とされたのは心の中で思ったことを罰するものであり、内心を罰するには自白が唯一の物証でしかなく、でっち上げと自白強要で自白を得て証拠

としなければならず、異様な拷問が行われました。

稀代の世界で例のない決して許すことのできない国家による犯罪の冤罪事件です。

治安維持法は、自らが思い描く未来社会への希望を天皇制政府と特高が「国体の変革」を目的とする結社として組織、加入に刑罰を科す法律です。

1925年施行の治安維持法が作られる当時の情勢はロシアで社会主義革命、国内では戦争準備の異様な軍事費膨張で国民生活は苦しくなり、富山のおかみさんたちから始まった米騒動が起き、労働争議、小作争議とこれまでの治安警察法では不十分と考え治安維持法の制定へとなりました。

初めは共産党とその支持

者弾圧から始まり、その後

は目的遂行罪を設けて、特高が判断すれば逮捕投獄するということになり、大本教やキリスト教をはじめ宗教弾圧へと拡大していきま

した。国内では治安維持法による死刑判決はありませんが、朝鮮では59人、満州では2000人弱の死刑となっています。抵抗運動に対する見せしめとして最高刑の処罰が行われました。

天皇制政府が取り締まるうとした日本共産党は侵略戦争反対、主権在民、8時間労働制など今の憲法の基本になっっている当たり前の主張を弾圧した悪法でした。

今の自民党政府は、治安維持法は当時適法に制定され、刑の執行も適法と悪法も法なりと治安維持法擁護

の姿勢です。

今、自民党政権は安倍政権時には特定機密保護法、安保法制、共謀罪と戦争できる国づくりが進み、最近では経済秘密保護法の制定、基地機能強化の一環で舞鶴や祝園弾薬庫はじめ基地強化が進められています。

私たちはこのような動きを絶対に許さず、山本宣治さんが求めた誰でもが自由で平和な社会目指します。

夏の参議院選挙では、京都選挙区で倉林明子さん、比例で井上哲士さんの勝利、私たちの願いにこたえる政治の実現に奮闘することを誓い哀悼の言葉とさせていただきます。

「治安維持法・京都学連事件100周年事業実行委員会」

副会長 佐藤和夫

○1月11日、治安維持法・京都学連事件100周年を問う共同シンポジウム実行委員会
が成瀬龍夫及び井口和起共同代表体制で発足し、14人が参加。以下の通り確認されました。

○日時：12月13日(土)午後1時半より5時(予定)
会場：立命館大朱雀キャンパス(第1候補)。

◎参加表明団体：国賠同盟大阪府本部・大阪自由法曹団・大阪民衆史研究会・奈良国賠同盟・奈良長谷川テル顕彰会・戦前大阪外語社研究会・国賠同盟京都府本部・京都の民主運動史を語



る会など

○共同シンポジウムの企画
素案

京都学連事件・京大滝川事
件・大阪商大事件を軸に、学
生社研運動経験者などの反
戦反ファシヨ闘争を具体
的に深掘りし、戦後の民主
化のふいしずえとⓧとなつた。
したがつてまた、それらは
「京大連事件」から紡が
れる「表現の自由」「出版の
自由」「言論の自由」「大学の
自治」など社会発展のバネ
を取り戻す戦いだつたが、
敗戦直後に大正デモクラシ
ー・高野岩三郎や隠れマル
キスト・鈴木安蔵らの「憲法
草案要綱」の提案も、自由民
権運動・大正デモクラシー
など未完のブルジョワ民主
主義革命運動と社会発展の
前向きなベクトルを合成す
るものと、問題提起

支部便り

京丹後支部

副支部長 森 勝

1月の「新年のつどい」と
2月の三役会議で国会請願
署名を「早期に1000筆
の大会に！」と意思統一し、
役員を先頭に、また、活動参
加会員も増え頑張つた結果、
3月5日現在の署名数が1
046筆(個人1030筆・
団体代表者16筆)集約で
き、昨年実績の1040筆
を超えました。

民商や生健会などの確定
申告書作成会場での訴えが
増えた大きな要因です。

まだ支部目標(2000

筆)の52%ですが、「全同
盟員が署名する」活動を当
面の目標として進めます。

会員拡大・会費納入等他
の諸課題も含めて「治安維
持法100年行動」の運動
を成功させるために奮闘し
たいと思います。

他団体との連携では、顕
彰活動として倉岡墓前祭実
行委員会の事務局担当団体

であり、「第17回倉岡愛穂
墓前祭実行委員会」を2月
23日に開催し、倉岡さん
が獄死した4月9日(水)の
命日・午後1時30分から、
京丹後市丹後町鞍内の愛穂
さんの墓前で行うことを決
めました。

実行委員会の役員体制は、

委員長に増田光夫、副委員
長に藤原利昭、上田貴志、白
岩美芳、松村満行、事務局長
に三野広海、事務局次長に

倉岡和美、真下相一、会計に
嶋崎圭祐の各氏が留任でお
世話になります。

追悼の言葉は、国賠同盟
京都府本部・丹労連・共産党
丹後地区に、メッセージは、
京都の国会議員に要請して
います。

参加者全員に献花をして
いただく予定です。

石破政権で大軍拡が急速
に進められている今、「天皇
のため死ぬという教育はし
ない」等の教育実践を目指
したため、治安維持法の犠
牲者となつた倉岡さんの生
き様を学び「再び戦争と暗
黒政治を許さない」ための
闘いに生かす決意を捧げた
と思います。

又、今年の「第78回解放
運動無名戦士合葬追悼会」
(3月18日 東京 日本
教育会館)

「第70回京都解放運動戦士の碑合祀追悼祭」(5月11日・京都・知恩院境内碑前)に取り組みます。

同盟京丹後支部の発足当初から同盟活動を粘り強く行い、こころ志し半ばで亡くなられた4名(芝井清生さん・西川政治さん・下工垣弘和さん・森岡利行さん)を推薦し、その活動を顕彰し遺志を継いで活動することを誓い、国民救済会と協力し合いながら追悼会、追悼祭への参加や追悼募金にも取り組むことにしています。

宇治洛南支部

支部長 山崎恭一

活動の具体的だんどりを

3月の理事会では、これまで決めた課題の具体化や段取りについて話しあい

ました。

署名は、労働組合や市民団体、女性団体などに申し入れをして署名用紙を預けてきましたが、共産党にもあらためて申入れをしようということになりました。

洛南地区委員会と山城地区委員会に「治安維持法100年の節目ですので宜しく」と担当者を決めて要請することになりました。

新しい理事のいる京田辺で集めた署名が届きました。学習面では、テキストをあらたに10冊買いこんで普及に努めています。

知人を訪ねての活動に加えて、多くの人に訴える街頭での宣伝活動も強化しようとして、祝園弾薬庫の大拡張と長距離ミサイル配備に反対する横断幕を作ることにし、文面を決めました。

秋に予定の「近畿ブロック交流会」

9月27日(土)～28日(日)

映画:「小林多喜二」上映

講演:荻野富士夫氏

など企画中

前号でお知らせの青木理氏の企画は、諸事情のため無くなりました。

※お詫びして訂正させていただきます。

2025年度国会請願日時決定

5月15日(木)11時～

衆議院第一議員会館大会議室

治安維持法100年の節目の年にふさわしい署名集めて国会へ!

お尋ね

令和7年2月3日に上京区下立売郵便局に10,000円(会費・カンパ)入金して頂きました会員様、名前の記入がありません。心当たりの方は、連絡ください。

よろしく願いいたします。

連絡先: E-mail: info@kokubai-kyoto.com

TEL: 075-312-8787 090-8575-9851